

医療がわかる。人が見える。地域とつながる。

筑波大学附属病院だより

VOL.5

2019年

特集

～投書箱にいただいたご意見をもとに改善中です～

患者さんの声、 届いています!

気持ちよく受診して
いただけるよう
日々努力しています

「エクスプレスレーン」で
会計時間短縮
駐車場への誘導體制、
電話をつながりやすく、
診療予約を取りやすく、……

患者さんがよりスムーズに
診療を受けられるように
外来診療の環境を改善中。
さまざまな改善CASEを
ご報告します

患者サービス課 の一日

患者さんのさまざまな要望に、
親身に対応。
院内の各部署をサポート!

「がん遺伝子外来」 はじまりました



一人ひとりのがんの個性(原因)を 遺伝子レベルで解明する がん遺伝子外来

総合がん診療センターでは、2018年11月から「がん遺伝子外来」を開設しています。ここでは、最新の検査技術によって患者さん一人ひとりに特有ながんの原因を遺伝子レベルで明らかにし、抗がん剤の選択などに役立てるといふ県内で初の取り組みを行っています。「ゲノム医療はこれからの時代、ますます進歩してゆく分野です。現状、検体の有無などいくつかの条件があるので、全ての患者さんに対応できるわけではないのが残念ですが、一度に多種類の遺伝子について網羅的に調べることができるようになりました。この検査によって最適な薬が見つければ、がん治療に大いに役立つでしょう。ただし、有効な治療薬が見つからないケースもありますので、その場合のケアも必要だと感じています」



総合がん診療センター部長 関根郁夫先生

国立がんセンター、千葉大学を経て、20年から筑波大学臨床腫瘍学教授。がん治療のエキスパート。

表紙

患者さんの快適さを目指して



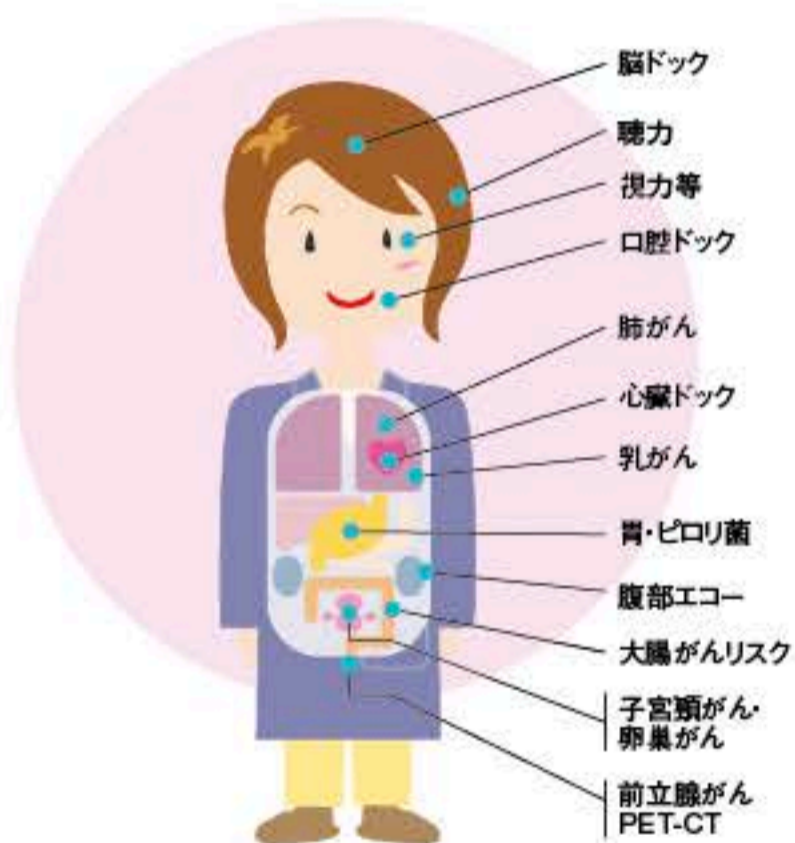
(左から) 外来クラーク業務リーダーの大槻泉さん、看護部の小泉仁子部長、診療会計の五味田純子さん、患者サービス課の久保幸代さん。患者さんが快適に過ごせる病院にするためには、部署を超えて協力し合う体制が欠かせません。小泉部長が手にしている、お客様から声をお寄せいただく投書は、院内のさまざまな場所に設置されています。



生活習慣に気をつければ、がんになる確率も半減するといわれています。検査結果を生活習慣の改善に役立てましょう。何か病気が見つかったら、大学附属病院の専門医と連携し、次の治療ステップに速やかに進むことができます。

最新の医学

人間ドックコースの基本コースにオプションコースも組み合わせる方も。オプションには、がんPET検査、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん+卵巣がん、前立腺がんなど。そのほか心臓ドック、脳ドック、口腔ドックも行っています(実施曜日はお問い合わせください)。



筑波大学附属病院 つくば予防医学研究センター 人間ドックのお問い合わせ

☎029-853-4205
Mail yobouigaku@un.tsukuba.ac.jp

人間ドックで病気のリスクを知って、予防を。 健康寿命をのばしましょう。

「つくば予防医学研究センター」

「つくば予防医学研究センター」は、最新の医療機器と大学附属病院の現場で活躍中のスペシャリストたちによる人間ドック。大学病院との連携による迅速で、的確なサービスが受けられます。3年目を迎えた「つくば予防医学研究センター」には、新たなスタッフも加わりました。最近の人間ドックについて、センターの副部長の鈴木英雄先生がお話してくれました。

平成29年度にスタートした筑波大学附属病院の人間ドックも4月から3年目を迎えます。29年度は624名、30年度は836名の方にご利用いただきました。当院の人間ドックでは、大学病院での診療経験を有する専門医が最新の医療機器による検査を実施します。

昨年度は9名、今年度は7名の方に新たにがんが発見されました。がんは早期に発見できれば治る可能性が非常に高い病気です。筑波大学附属病院人間ドックでは健康長寿社会の実現に貢献すべく、これからも人間ドックを通じて予防医学研究の発展に寄与してまいります。



上:西山博之部長及び鈴木英雄副部長を中心とするセンタースタッフの面々。右:院内からセンター入口へ。病院との連携体制が整っています。



定期的に
人間ドックで
ご自身の体を
チェック!

受付で
お待ちしております!

出迎えてくれるスタッフの笑顔にリラックス。



つくば予防医学研究センター
副部長
鈴木英雄先生

専門は、消化器内科、医学教育。「症状が出てからでは、病気が進行して手遅れになっている場合もあります。いつまでも元気でいられるために人間ドックで自分の体をチェックしましょう」

